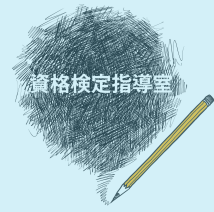


資格検定 NEWS

岡山県立倉敷工業高等学校 資格検定指導室



「未知の世界に挑戦する勇気」

スポーツの世界では、10勝8敗より18勝0敗の方が評価されますよね。一方で、たとえ負けようと『挑戦した』というその意欲も評価の対象になるのが、ビジネスの世界。

それは”真の勝利”が多くの失敗の先のあることを、成功者たちは身を持って学んできたからです。失敗体験はビジネスパーソンにとって貴重な栄養素。お客さんや上司とのちょっとした話題作りにも使えますしね。

【出典】リージョン株式会社折り込みチラシ 朝日新聞（岡山）
2015年8月2日

技能五輪 日本企業挑む

ものづくりに携わる世界の若者がその腕前を競う年に1度の技能五輪が、ブラジル・サンパウロで開かれます。

日本はかつて「世界最強」を誇っていましたが、韓国などに押されて前回大会では金メダル獲得数で4位に甘んじました。ものづくり大国の復権をかけ、トヨタ自動車や日立グループなどの社員が世界一に挑みます。

メダル獲得が特に有力視されるのは、トヨタのほか、日産自動車など、日本の大手メーカーが社員を送り込むものづくり系の種目です。

大手メーカーの選手の多くは、工場などの現場では働かず、企業内の練習施設などで技を磨きます。目先の利益につながらない職人養成に力を入れるのは「現場のものづくりのレベルを上げるには、高度な技能を持つリーダーが必要」（日立）と考えるからです。

技能五輪経験社員は、主に試作品や最先端の生産設備をつくる部署に配属されます。トヨタではロボット開発など、日産では自動運転技術の開発などでメダリストが活躍しているということです。

【出典】朝日新聞 2015年8月7日の記事より一部抜粋修正